

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	12	学校名	檀原高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	幼児とのリモート交流
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	「家庭基礎」の「子供の生活と保育」についての理解を深めるため、幼児と交流する機会を持つ。
連携・協働相手	檀原市立第5こども園、白檀幼稚園
地域と共有している目標・課題等	異世代間の交流を通して、子ども・生徒の豊かな心を育むとともに、魅力ある地域づくりを図る。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>家庭クラブが主体的に計画・立案をして檀原市立第5こども園、白檀幼稚園の幼児とボウリングや紙鉄砲作り、高等学校のクラブ活動紹介などの体験的な学習を通じて交流した。</p> <p>生徒は、子どもたちがボウリングや紙鉄砲作りを笑顔で楽しんでいる様子を見たり、保育士の方々のきめ細やかな声かけを目の当たりにしたりすることで「子供の生活と保育」について体験的に理解を深めた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>事業の成果として、生徒がリモートの交流で幼児に楽しい時間を提供するためにはどうすればよいかを主体的に計画・立案したことで、子どもへの理解を深められた。また、生徒が与えられた役割を責任をもって全うする経験ができたことで、生徒個人の成長にも繋がった。ほかにも、交流させていただいた保育士の方々が、子どもたちに対して、きめ細やかな声掛けをしておられる様子を目の当たりにすることで、子どもとの関わり方について深く学ぶことができた。</p> <p>今後の課題としては、リモートで交流を行うためのネット環境と機材を整えることが挙げられた。リモート交流中、音声や映像が途切れてしまうことが数回あり、円滑な交流の妨げになったことがあった。リモートで交流を行う上で、想定される課題であるため、より一層のリモート交流時の能力向上が求められると感じた。</p>
--



